



Sponsor a Child

クリスチャンパートナーズ

通信第 94 号

-
- | | |
|---|-----------------------------------|
| ・発行日／2015年2月25日 | ・発行所／クリスチャンパートナーズ |
| ・事務局／〒422-8053 静岡市駿河区西中原
2-7-63-111 竹澤三佳子方 | ・Tel／Fax 054-283-1721 |
| ・郵便振替口座／00150-0-134994 | ・e-mail／sunflower818@hw.tnc.ne.jp |
| | ・http://www2.wbs.ne.jp/~c-p/ |
-

インドネシア・西カリマンタン訪問記

理事長 木ノ内 一雄

昨年8月11日から18日まで、アンテオケ宣教会主催の《ミッショントリップ》に参加し、西カリマンタンを訪問しました。この旅行には、奥地チャレンジ組と沿岸部視察組がありましたが、私はクリスチャン パートナーズが支援しているロバン村教会を訪ねたかったので、沿岸部視察組に入らせていただきました。それで、アンテオケ宣教会が関わっているプニティ・アナスタシス教会と、ロバン村教会を訪問した時のことを報告したいと思います。

17日の主日礼拝はプニティ・アナスタシス教会で守りました。プニティはその土地の名前でアナスタシスはギリシャ語では「立ち上がる」という意味ですが、キリスト教では「復活」を意味します。従ってプニティ復活教会となります。

この教会は一人の日本人宣教師、安東栄子先生の死によって始まりました。安東先生はインドネシアの地に日本軍占領時の重荷を覚え、長い祈りと準備の後にこの地に遣わされましたが、二年後、言葉も覚え、これからという時に自動車事故で亡くなりました。奉仕していたATI神学校の第一回卒業式の翌日でした。走行中脱輪し回転した車から外に投げ出されたのです。しかし、彼女の働きはそれで終わりませんでした。彼女の志を継いだ神学校の学生たちが、この地で伝道を始めたのです。イスラムの人たちが多く住む伝道の困難な所でしたが、教会はその人たちへの信仰の証となり、地域伝道の拠点となるものでした。しかし、教会はそこに住む熱心なイスラムの信徒たちによって焼き打ちされたのです。

今回、私たちを引率してくださった大田裕作牧師（関西聖書学院院長）はその地方への宣教師でしたが、先生はこの焼き打ちを「今考えてみれば私たちが間違っていた、宗教的対立を持ち込んだのだから」と言われました。キリスト教の正



プニティ・アナスタシス教会 中央右の白い上着が理事長

しさを主張することは、彼らの信仰を否定することになるのです。しかし、それで終わりではありませんでした。その反省に立ち、同じ土地に再び教会が建てられました。それが現在の教会です。

新しい教会がまず始めたのはイスラムの人たちとの信頼の回復でした。父なる神が彼らの神となり、御子なる主イエスは彼らの預言者ムハンマドと同じく「神の言葉」です。エジプトの女ハガルの子イシマエルとサラの子イサクは対立する兄弟ではなく、同じアブラハムの子なのです（旧約聖書創世記参照）。教会が他の宗教との違いを強調し、否定すれば争いとなるのは当然です。相手の宗教を受け入れて、初めて協力関係が生まれます。私たちは「和解の使者」なのです。新しい教会はこのような新しい理念のもとに建てられました。地域の人々の痛み、悩みを共有することによって、お互いの心が開かれるのです。この教会の屋根にはまだ十字架を立てることはできませんが、時間がかかっても人々を愛し続け、地域の人たちに受け入れられるまで待つことのできる教会に変えられたのです。



アナスタシス教会の若い会員たち

木ノ内理事長とデシさん



木ノ内理事長を歓迎するプニティ・

この教会に出席していた二人の女子高校生が、昨年のクリスマスに洗礼を受けました。二人とも三年生で、神学校と大学に進学を志していました。そのうちの一人、デシさんの家に立ち寄りました。母親が最近亡くなったとのことで、父親はずいぶん気落ちしているようでした。多くの家庭で子どもを大学に行かせるのは難しい現状です。

インドネシアではリバイバル（信仰復興運動）が起こりますが、信者を導く指導者が少なく、その機会を用いられないようでした。このような希望を持った若者が上級学校に進むことができれば、どれほど大きな働きができるかわかりません。二人のことを覚えてお祈りください。

ロバン村教会・幼稚園訪問

クリスチャン パートナーズからの支援も加わって、土地を取得し建物を改修することができたロバン村教会と幼稚園を訪ねました。ここの責任者は中国系の伝道師アサン夫妻でした。三年前、木ノ内和美理事と宮澤理事が訪問した時と変わりなく働いてくださいました。

前もって連絡してあったので、この伝道師夫妻と教会の主だった方が集まって、到着を待っていてくださいました。時間が遅かったので、子どもたちには会えませんでしたが。英語が通じないため、大田先生の通訳を通しての交流となりました。

この教会もイスラムの人たちが住む地域にありますが教会出席者はほとんどが中国系の方々でした。伝道師夫妻は礼拝堂の隣の一部屋に住んでおられますが、二人の子どもと四人で寝るだけで、家具もテーブルもない小部屋でした。この教会のために、



アサン伝道師ご一家



ロバン村教会員と・・・右端理事長、その左が大田先生



献金を会員にお渡しする木ノ内理事長

理事会からの心ばかりの献金をお渡しし、喜んでいただきました。

二つの教会を見て、さまざまな宣教団体の協働の実としていずこも主イエスが建てられた教会であることには変わりがないことを知らされました。私たち神の国の民には、中国人も日本人もアメリカ人もないからです。そしていずれもそこに住む人たちと貧しさと苦しみ、喜びを分かち合うことによって共に生きようとしています。自らの信仰や価値観を押し付けるのではなく、分かち合うことによるのみ平和が生まれ、クリスチャンとなる人が与えられるのではないかと思います。

最後に、インドネシアの人たちは本当に親日的でした。写真を撮ろうとすると、若い人たちが周りに集まってくるのです。日本人と一緒に写真を撮ると、日本に行けると言われているそうです。若い女の人たちまでがこのようにするのは、他の国には見られないことでした。どこの国ともこのような関係を大切にしていかなければならないと思います。

ダミ・ウィスダさんはクリスチャン パートナーズの奨学生として 2012 年に大学を卒業されましたが、指導教授の推薦もあって大学院に入られました。本人の希望と高橋めぐみ先生の推薦により、当会で最初の大学院生への奨学金支援となりました。ダミさんからのご挨拶を、稲葉夫人に訳していただきました。

スチャン パートナーズの皆様

2014 年 9 月



大学卒業時のダミさん

主の御名を讃美します。
クリスチャンパートナーズの皆様に感謝の気持ちをお伝えしたい
と思います。

今まで私のためにお祈りや学費の援助をしていただいた結果、前期の成績がとても良かったです。中間期の成績はまだ発表されていません。現在、私は後期の授業期間に入ります。後期の授業費用は、前期と中間期と比べまして、かなり沢山かかります。その原因は毎年大学側が企画している他県の課外活動です。高額な費用をまかなうために私はもっと頑張らなければなりません。現在、私は勉強しながら、家庭教師のアルバイトをしています。後期の授業は 9 月に開始いたします。いま論文の題名を考えている最中です。来年は卒業できますように一所懸命頑張っています。どうか、私の健康、仕事、授業にも全てがうまくいきますように、神様のお導きがありますようにお祈りください。

卒業できましたら、アンジュプラ ポンティアク大学で講師として働きたいというのが以前からの希望です。国家公務員の試験の申し込みが開始したら、すぐにでもやりたいと思います。神様のお導きがありましたら、きっと私のために一番良い道を用意してくださると信じています。現在も私は G M I I 教会でお手伝いさせていただいています。その他に前期にはアンジュガンの A T I 神学校で教えたりしています。これはすべて神様が私に力を与えてくださるからです。

今まで私のために沢山の学費の援助をしてくださったことに、心から感謝いたします。神様はきっと、今まで以上に多くのお恵みを皆様の上に与えてくださることと信じております。神様からいつまでもスポンサー様のお働きとご奉仕の上に沢山の祝福がありますようにお祈りいたします。

神様のお恵みがいつまでも ダミ

(「通信」第 78, 85, 88, 91, 93 号をご覧ください)

【理事会報告】第 184 回理事会は 2014 年 9 月 29 日 (月) 一ツ橋学会館で開催。2014 年 7、8 月度会計報告承認。今年度の支援金送金手続きについて協議。理事長の西カリマントン訪問報告。三十周年記念行事について協議。「通信」第 94 号は理事長の旅行報告中心で 11 月末発行の予定。

第 185 回理事会は 2015 年 1 月 19 日 (月) 一ツ橋学会館で開催。2014 年 09, 10, 11, 12 月度会計報告承認。シンガポールへの SAC 支援金送金報告。「通信」第 94 号は 2 月末日発行の予定。三十周年記念行事は 6 月 27 日 (土) に一ツ橋学会館で開催。3 階 310 号室で午後 1 時半より、高橋めぐみ宣教師の講演とスライド映写の後、茶話会とする。

第 186 理事会は 2015 年 4 月 6 日 (月) 午後 2 時より、一ツ橋学会館で開催予定。

~~~~~  
(編集後記) 年末に発行予定でしたが、大変遅くなりました。節分も過ぎたのにインフルエンザの流行は収まらず、豪雪の地方もあり、皆様の健康をご案内しております。いよいよ三十周年を迎えました。故草野理事長の献身的な働きを基礎に、多くの方々の理解と協力を得て、子どもたちに教育の機会を与える奉仕をここまで続けてまいりました。

6 月 27 日 (土) の記念集会で、皆様にお目にかかれたいことを願っております。

鳥海百合子